

地歴公民 (地理) 東京大学 (前期) 1/3

第1問

5 10 15 20 25 30

設問A

(1)太陽光の反射率が大きい海氷や積雪に覆われていた地域が、氷雪の融解により地表面や海面が露出し、熱の吸収量が増えたため。

(2)海水の熱膨張

5 (3)永久凍土中に含まれている温室効果ガスのメタンは温暖化係数が高く、大気中に放出されることで温暖化に大きな影響を及ぼす。

(4)地盤の陥没による建造物や道路、パイプラインなどのインフラの損傷が経済活動の停滞を招き、修復に莫大な費用もかかるため。

設問B

10 (1)アアマゾン川 イーメコン川 ウー黄河 エーポー川

(2)ダムとえん堤の建設で流量調節が可能となったことに加え、ダムへの土砂の堆積や流域における植林などの対策が進んだため。

(3)人口増加や経済成長に伴い河川流域の開発が一層進み、土壌保全機能を持つ森林が広範囲に伐採されたため。

15 (4)高潮が発生した際に海水の遡上を軽減させる効果があるが、洪水が発生した際には速やかに海に排出されず、浸水被害が拡大する。

地歴公民(地理) 東京大学 (前期) 2/3

第2問

5 10 15 20 25 30

設問A

- (1)流行情報の入手や、企業情報の発信が容易な環境にあるため。
(2)衣類製造は労働集約的で、中国での賃金上昇に伴い、人件費が安く生産が拡大したベトナムなどから輸入が増えたため。
5 (3)短いサイクルで企画・大量生産するファストファッションが台頭し、季節商品は天候不順により販売数が減少することがあるため。
(4)EUなどの先進国では輸出衣類が輸入国で廃棄されることで環境汚染を招く懸念から規制し、リサイクルを促進している。途上国では自国産業を保護するため安価な中古衣類の輸入を制限している。

10 設問B

- (1)A－北海道 B－福岡県 C－京都府 D－沖縄県
(2)工業など産業が集積する県で出張など国内ビジネス客が多いが、主要な外国人宿泊地となる東京や大阪から日帰り圏内にあるため。
(3)交通の利便性が高く観光地へのアクセスがよい地区は地価の高騰
15 や混雑が生じ、住環境がよく閑静な地区に居住地が変化した。
(4)自然保護地域への立ち入りを制限し、利用料金の徴収など観光客流入を抑制する方法がある。一方で観光業を中心とした地域経済の低迷の懸念、十分な自然体験が得られない観光客の不満がある。

地歴公民 (地理) 東京大学 (前期) 3/3

第3問

5 10 15 20 25 30

設問A

- (1)郊外に放射状に延びた鉄道に沿って宅地開発が進んだこと。
(2)南西では内陸部にも鉄道網が発達し都心部への時間距離が短いため DID が広範囲に拡大した。東では都心部への鉄道は東京湾を迂回するため時間距離が長くなり、DID は港湾都市周辺に限定された。
- 5 (3)地方からの人口流入が鎮静化し、首都圏外縁部での新たな宅地開発が停滞したうえ、バブル景気崩壊後は都心周辺の地価下落と再開発により郊外から都心周辺への人口回帰がみられたため。

設問B

- 10 (1)感染拡大時の移動制限が緩和され海外在住日本人の帰国者が多かったことと、感染対策が進み国内の死亡数が減少したことによる。
(2)大学・専門学校に通う20歳代の留学生が多く居住する地域。
(3)ICT利用のリモートワーク普及による近隣県への移住や、コロナ禍での飲食店廃業などによる出身地などへの移住が増えたため。
- 15 (4)GNSSを用いた携帯電話による位置情報の収集。